

Wish

vol.35
2011年11月号

わたしはなつやすみに
ゆにせふのえいがをみまし
た。とおいくにのおはなしで
す。そのくにはせんそうをし
ていました。こどもはがっこうに
いきません。おかねがないから
です。わたしはかなしいとおも
いました。だからまほうをつか
ことおいくにのこたちをにほん
につれてきてあげたいです。
いっしょにがっこうにいきたい
です。みんなよろこびます。
わたしもうれしいです。

8月27日(土)
映画「ありがとうの物語」を見た
しもだみさきちゃん(小1)のメッセージ
みんなとたち

CONTENTS

2-3 特集 | INTERVIEW
マリールイズさんインタビュー

4-5 特集 | EVENT FOCUS
早川千晶さん トーク&ジンベ

6 今号の兵庫県ユニセフ協会

7 活動ファイル

8 お知らせ

Wish



vol.35
2011年11月号

わたしはなつやすみに
ゆにせふのえいがをみまし
た。とおいくにおはなして
す。そのくにはせんそうをし
てみました。こどもはがっこうに
いきません。おかげがないから
です。わたしはかなしいとおも
いました。だからまほうをつか
うことにしてみました。おかげ
がなくなるとおぼろげにみえ
ます。みんなよろこびます。
わたしもうれしです。

8月27日(土)
映画「ありがとうの物語」を見た
しもだみさきちゃん(小1)のメッセージ
みんなともち

CONTENTS

- 2-3 特集 | INTERVIEW
マリールイズさんインタビュー
- 4-5 特集 | EVENT FOCUS
早川千晶さん トーク&ジンベ
- 6 今号の兵庫県ユニセフ協会
- 7 活動ファイル
- 8 お知らせ

About Donations

募金について

通信欄記載事項	振替口座	手数料
ソマリア干ばつ 緊急募金	ソマリア K1-280兵庫 3100	免除
東日本大震災 K1-280兵庫	東日本大震災 372895	ご負担 下さい
中東・北アフリカ	中東・北アフリカ K1-280兵庫 31000	免除
ハイチ地震	ハイチ K1-280兵庫 31000	免除
パキスタン	パキスタン K1-280兵庫 31000	免除
アフガニスタン	アフガニスタン K1-280兵庫 31000	免除
緊急復興 アフリカ	アフリカ K1-280兵庫 31000	免除
自然災害	自然災害 K1-280兵庫 31000	免除
人道危機	人道危機 K1-280兵庫 31000	免除
通常募金	K1-280兵庫 31000	免除

*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

Volunteer

あなたもボランティア!

ユニセフという言葉は知っているけれど、どんな活動をしているんだろう。世界の子どもたちのために、私にできることはなんだろう。「できる人が できることを できる時に」活動しています。お気軽にご連絡ください。(事務局: 078-435-1605)

ユニセフ兵庫ニュース

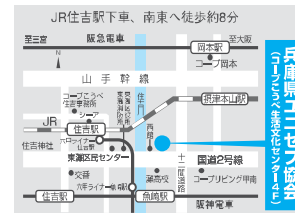
Wish

vol.35
2011年11月号

ユニセフ兵庫ニュース Wish
2011年(平成23年)11月発行
発行: 兵庫県ユニセフ協会
住所: 〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
電話: 078-435-1605
FAX: 078-451-9830
(お問い合わせは平日の10:00~16:00)

●最新の情報はホームページで
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>
兵庫県ユニセフ協会 検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us

主催イベント



ユニセフボランティア講座

ユニ・ボラ塾

日時 11/26(土)
13:00-14:30
会場 コープこうべ生活文化センター5階
会議室
内容 「子どもの貧困」
震災以降、日本の子どもたちのことも考えよう
講師 末吉洋文(帝塚山大学法学部准教授)



ボランティア募集!!

ユニセフ ハンド・イン・ハンド

街頭募金活動

日時 12/23(金・祝) 世界では5歳の誕生日を迎えるこ
11:00-13:00(予定) となく亡くなる子どもが年間760
会場 姫路、加古川、垂水、 万人もいます。この死亡原因の
須磨、元町、三宮、住 1/3以上に栄養不良が深く関係
吉、芦屋、西宮、伊丹、 しています。緊急時の「栄養補
宝塚など 助食」や長期的対策としての
テーマ SOS! 「発育観察」や「母乳育児の推
栄養不良に苦しむ 進」、「微量栄養素」への支援
小さな命を守ろう! 活動への協力を呼びかけます。



We Join

出展参加

- 11/13(日) ユニセフカップ2011 西宮国際ハーフマラソン
- 11/27(日) コープ ボランティア交流会
- 12/3(土) ふるさとウォークにしのみや2011

News

お知らせ



ユニセフ・カードとギフト
秋・冬号2011

ユニセフグッズで世界の子どもたちに未来を
ユニセフ製品をご利用いただくことで、価値の約50%がユニセフの活動資金として世界の子どもたちのために役立てられます。数々のユニセフグッズ、ぜひ手にとってご覧ください。毎月7日には、コープこうべ生活文化センターでカード頒布を行っています。カタログ送付、詳細を知りたい方は、兵庫県ユニセフ協会までご連絡ください。



10周年記念イベントを開催

祝!
2012年3月、兵庫県ユニセフ協会はおかげさまで10周年を迎えます。10周年記念「ユニセフのついで」を、2012年3月17日(土)に開催します。詳細は決まり次第お知らせします。ご参加ください。

平和だからこそできることがあると改めて感じました。

インタビューを終えて

兵庫県ユニセフ協会とマリールイズさんとの出会いは昨年7月に行われたルワンダフルコンサート。アフリカのグラミー賞と言われるコウラ賞を受賞したルワンダ出身のミュージシャン、ジャン・ポール・サンブツウさんを迎えてこの公演をコーディネートし、通訳を務めたのがマリールイズさんでした。

今回は、命の尊さ、教育の大切さを訴える講演活動で全国を駆け回っておられるマリールイズさんへのインタビュー。流暢な日本語で丁寧に語ってくださる言葉には優しさや力強さがありました。とりわけ、その中でたびたび出てくる「平和、教育」という言葉には、魂が込められているようで、大きなエネルギーがひしひしと伝わってきました。不思議なほど素直に「マリールイズさんを応援したい」という気持ちが生まれてきました。

NPO法人「ルワンダの教育を考える会」

「ルワンダの教育を考える会」は、戦争で心身に傷ついたルワンダの子どもたちに教育の機会を与え、民俗や宗教政治思想にとらわれることなく、その人らしく生きていくためのさまざまな教育支援に関する事業を行うために設立されたNPO法人です。その支援事業の一つがウムチョムウイーザ学園です。詳しくは、NPO法人「ルワンダの教育を考える会」HPをご覧ください。

ウムチョムウイーザ学園

ルワンダ語で「良い文化学園」という意味のウムチョムウイーザ学園は、戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子どもたちに、教室で学ぶことにより、夢を取り戻して欲しいという願いのもとに創られました。学ぶ意欲のある子どもたちを受け入れています。今では、大人のための自立支援も行っています。



ルワンダは、1962年にベルギーから独立しました。しかし、それ以前からあった民族抗争が、1994年4月の大統領暗殺を契機に激化。フツ族過激派による大虐殺が始まりました。6月までの3ヶ月間に犠牲者は80万、100万人に達しました。

ルワンダに 馳せる思い



戦争を繰り返さないためにも、成長し続けている子どもたちに早く手を差し伸べないといけない。それには教育しかない。そうした思いから、年齢や家庭環境にとらわれず、学ぶ意欲のある子どもたちを受け入れる「ウムチョムウイーザ学園」を創設しました。

今回のこと、校長先生が特別授業をしてくださいました。子どもたちは、地震、津波、福島原発のことなど今まで知りませんでしたので、「そんなに大変なんだ」と初めて事の重大さを知り、メッセージを書いてくれます。また、自発的に、お父さんやお母さんにも協力をお願いして、福島のための募金箱を作りました。

「命を育む事業」としてルワンダで普及させたいと思っています。妊婦さんの健康状態、赤ちゃんの予防接種や成長の記録、そして学齢期の子どもたちの成長の記録も書けるような母子手帳を、「命を育む事業」としてルワンダで普及させたいと思っています。

「どうしてルワンダに学校を建てようと思ったのですか」と考えたのでよ。ルワンダの子どもたちに「大きくなったら何になりたい」と聞いたとき、「大きくなるまで生きて欲しい」と聞き直されました。子どもは大きくなることも信じられないから、夢も語れない。ええ、これ戦争の恐ろしさだなあとすごく感じました。

無理かも知れませんが、言ってみなければわからない、やってみなければわからないというチャレンジでした。

初めて日本に来たとき、お年寄りの人も字が読めることびっくりしました。日本には義務教育制度があります。また母子手帳があります。ルワンダには母子手帳がありません。今、ルワンダにも母子手帳を普及させたいと思っています。妊婦さんの健康状態、赤ちゃんの予防接種や成長の記録、そして学齢期の子どもたちの成長の記録も書けるような母子手帳を、「命を育む事業」としてルワンダで普及させたいと思っています。

神戸からみんなの力
できる人ができることを

インタビュー

INTERVIEW

震災から7か月。

福島県で被災したマリールイズさんは、ルワンダでの紛争、難民キャンプでの生活体験も持ちます。今回は、これらの大きな試練を通して感じたこと、またルワンダに馳せる思いについて伺いました。

平和って こんなもの なんだ

「地震後、生活はどのように変化しましたか」

福島市内の確定申告会場にいました。が、何分も何分も揺れが収まらず、それはそれは怖かったです。家へ帰ると、灯油はこぼれ、物は全部倒れていました。ストーブをつけて火事であ

も出したら大変だし、二人の娘と三人で近所の空き地に車を止めて寝泊まりしました。車の中ではラジオが聞けました。津波があつて、海の近くのものが全部流れて壊れていて、人々の安否の確認をしていました。私たちの会員さんが海沿いにたくさんいました。電話を掛けても誰もつながりませんでした。すぐそばの「結」にいる人のことしかわかりませんでした。

ルワンダでの厳しい生活と、今回の避難生活の大きな違いはどこですか

日本には「何かあったらみんなてここに集合しよう」というのがありますが

ね。大体この地域だったらここ、もし水が怖かったらここに避難とか。今回は水が出なくなりましたが、その晩には水をもらえることになっていました。これはびっくりしました。



カンベンガ・マリールイズ
KAMBENGA MARIE LOUISE

1993年青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島文化学園にて研修。1994年2月帰国。4月内戦勃発、必死で逃亡する。難民キャンプで偶然出会った日本人医師の通訳になり、1994年12月研修生時代の友人らの尽力で再来日。2000年NPO法人「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、ルワンダに「ウムチョムウイーザ学園」を設立する。



2011年9月11日(日)
生活文化センター
共催: コープこうべ

早川千晶

1966年福岡生まれ。世界放浪の旅の後、ケニアに定住。現在は孤児やストリートチルドレンなど、学校へ行けない子どもたちのためのマコンスクールの運営に携わる。

特集 | EVENT FOCUS
早川千晶さん トーク&ジンベ

キベラスラムの子どもたち すべてのいのちは たからもの

トークゲスト 早川千晶 × カリンバ 近藤ヒロミ × パーカッション 大西匡哉 × アフリカのたいこ 山北紀彦
Hayakawa Chiaki Kondo Hiromi Onishi Masaya Yamakita Norihiko

世界を旅して キベラスラムへ

「人間っていったい何のために生きているんだろうか。この世界って何のために存在しているのだろうか。それを知りたくて、18歳の時から旅をしてみました。」

その流れの中でアフリカのキベラスラムに出会いました。ものすごく衝撃を受けました。どんな困難な状況の中でも、すごく命を輝かせて生き抜いている人たちがいます。みんなて助け合っていて、ここで生きていくことを可能にしています。路地裏から子どもたちがワットと走って出てくる。本当に命のさわめきがいっぱいの所なんです。スラムの命の輝きに胸を打たれてこの人たちのことをもっと知りたくて、深くかかわって行くようになりました。

リリアンはこの世の光 「私、やるわよ」

リリアンはこのスラムで生まれ育ち、妹や弟たちを抱えて「生懸命生きてきた女性です。ある時リリアンが、「私、やるわよ、やるって決めたわよ。親を失った子どもたちがどんな思いをするか私には分かるのよ。私の夢はそんな寂しい思いをしている子どもたちのお母さんになりたいの。人間は命の時間は決められない。その中で何をするかそれを決めるのは自分自身なんだよ」と言っ

たんですね。そうやって黙々と助けて始めて子どもたちがここにきて命の光を取り戻していき、また笑えるようになっていく姿を見ました。私はこの人は「この世の光だ」と思ってたんです。私はリリアンの思いを支えていく形で、スラムの仲間たちと一緒に学校を創っていくようになりました。

ハラヘー 力を合わせて

それから、キベラスラムの中の崩れかけたような土壁の長屋をまず、私が買ったんです。ここで、学校を始めるのにはあまりにもボロボロでした。ところが私にはもうお金がなかったんです。どうしようかなと思っていたら、みんなが、「大丈夫。できるよ」と、なんの根拠もなく言うんです。このスラムで困難な状況を生きていくことの秘密のついでに「ハラヘー」というのがあります。今日食べられるか食べられないかわからない人たちが、小銭をいっぱいポケットに入れて持ってやってくる。歌うたり踊ったり、面白いことを言っていくのですね。空っぽになるまで。それで「すごく楽しんで」「よかった。今日は本当によかった。みんなて力を合わせるよ」ができた」と言っていて帰ります。

キベラスラムの ストリートチルドレン

路上浮浪児の子どもたちはこの社会の底辺でその存在を踏みにぢられ、苦しみをいっぱい抱えながら生きています。その中から、ずいぶん売りに行くものを見つけてきて、10円くらいのお金を得て、彼らを買うものは食べ物ではありません。みんなあの小ヒンを買って手にしています。その中のシンナーを朝から晩まで吸います。まずは、空腹を感じなくなり。そして、寒さを感じなくなり。苦しみを感ぜなくなると、苦しみを感じなくなると、こんな路上で暮らしていく寂しさ、昔家族と一緒に暮らしていた思い出がみんな忘れられます。そのうち、自分が誰だったかわからなくなり、そういうところからやって来た子どもたち、本当に奇跡のような子どもたちがたくさんいます。

マコンスクール いっしょに生きる幸せ

私の大切なお友達。「T」は路上の浮浪児でした。今、高校生になった彼が話してくれました。「あの時、たとえ世界中の子どももぼくのことを見てくれていなくても、たった一人だけ見てくれてい

人がいる。それは神様なんだと信じていたよ。そして、祈ったよ。神様お願いします。ぼくの目が覚めたときには、勉強できる学校がありますよ。うっ。朝になって、怖いけどエイツと目を開けると覆た時と同じ空地だった。でも、絶対に諦めなかった。私は、その言葉の意味をずっと考えていました。この子どもたち、ここでその真つ暗闇の中で生きていくために自分の足を照らす光、それは、「学校に行きたい」とが象徴していたんです。

オビ君は今、高校3年生です。彼は、「あの」ミの中にいる彼ら。シンナー吸って廃人のようになっていく彼ら。ぼくたちは全く同じ人間なんだ。こんな不公平な世の中は嫌なんだ。だから、ぼくが道を切り拓いていく。ぼくの後ろに続いている小さな子どもたちに夢や希望を与えられる存在になりたいよ」と言うんです。彼の夢は、ケニアの大統領になることなんです。

「この子どもたちが私たちが地球の希望ですね。今の世の中、子どもたちにとっては生きていてもいんなぞ肩が見えをと思っんです。」

今日よりもっと幸せな明日を

今年には震災もあって、原発もあって放射能汚染もあって、皆さんはいろんな不安の中にいらして、いやと思っます。私たちの地球も日本の未来も

どうなっちゃうんだろうって。

私はこのキベラスラムの仲間と生懸命生きて、今の時代を創っていくことがどれだけ難しいことかということも教えてもらっています。今日よりもっと幸せな明日を創っていくたい。そして、今日よりもっといい地球を私たちの子どもたちに手渡したい。その未来の懸け橋を創っていくのは私たち。それを渡していくのは子どもたちです。子どもたちが安心して生きられる環境、笑顔で生きられる世の中を創ることができるとは私たちが創ることです。だから、精いっぱい生きた、と胸に刻んでいます。そして、そんな力や勇気をくれたりするのは子どもたちです。キベラスラムの子どもたちが私の手を引っ張って背中を押ししてくれています。

日本に震災があったことを知った。このキベラスラムの子どもたちがすごく胸を痛めて、とても悲しんで、祈りの集会を開いたんです。子どもたちが祈っている姿、みんなで作った日本に向けての祈りをこめた歌を聴いてください。

今日があります。今日も大きな状況になっていますが、マテラ長が言ったように、「世界の子どもたちはみんな私たちの大切な宝物です。私たちに希望を持って歩きましょう。」

活動ファイル

ユニセフ・パネル展

〇月〇日(火)～〇月〇日(金)
コープこうべ生活文化センター



タンザニアの栄養プログラム
日本からの支援により、タンザニア・ザンジバルで重度の急性栄養不良の子どもたちのためのプログラムが導入されています。今回の写真では、子どもたちの置かれている状況や予防・治療に向けて行っている活動を紹介しました。

地球のステージ6
～永遠の帰還～

〇月〇日(土)
コープこうべ生活文化センター



ユニーズと「地球のステージ」関西実行委員会メンバーと一緒に参加

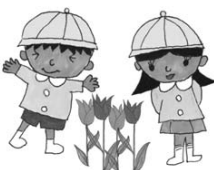
ひょうごから東日本の被災地へ
〇月〇日の「心は地球のステージと共に」から半年。この日の桑山紀彦さんは「ルワンダ編」、「国境難民キャンプ編」そして、「東日本大震災編」を力強く語りました。その中でも現在の被災地の様子や新しい生活を築き始めた人々の姿が強く心に残りました。これからの復興への思いとビジョンを語る桑山紀彦さん。大きな力と勇気をいただきました。

平和のつどい



大阪北地区へ初参加
毎年開催されているコープこうべの「平和のつどい」。〇月〇日(月、西宮プレハブホールではアグネスチャン大使の講演会がありました。また、〇月〇日(木〇)には、〇月にコープこうべと大阪北生協が合併したことで、初めて兵庫県ユニセフ協会から大阪北地区へ参加し、ユニセフ製品の頒布を行いました。たくさんの皆さんにご利用いただきました。

いわての子どもたちに



岩手県ユニセフ協会では、ユニセフ支援の仮園舎である大槌保育園、吉里吉里保育園、おさなご幼稚園にチューリップの球根を植える活動をすすめています。そこで、兵庫県ユニセフ協会では、「ひょうごから子どもたちへの応援メッセージ」として球根を届けようと10月1日「地球のステージ」公演前に呼びかけたところ、たくさんの方に協力をお願いすることができました。

ソマリアへ緊急支援を!



©UNICEF/FNYHQ/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇Kate

ソマリア飢饉に日本の支援を
今なすべきは救える命を救うこと
ソマリアは日本からすれば遠い国かも知れないが、東日本大震災では地球の反対側にある南アフリカ共和国はじめ多くの国々が救助・医療チームを派遣し、さまざまな支援を日本に送った。家族を失った時の悲しみ、飢えた時の苦しさ、病気になった時のつらさは万国共通だ。日本も苦しい時期ではあるが、そんな時だからこそ、内向き、下向き、後ろ向きにばかりなることなく、外を向いて世界に横たわる同じ苦しみを理解し、上を向いて何をすべきか考え、前を向いて行動してほしい。 國井修(ユニセフ・ソマリア支援センター)

今号の兵庫県ユニセフ協会

ユニセフ国際教育セミナー
～ユニセフと世界の子どもたち～



〇月〇日(金)、コープこうべ生活文化センターで教員や各方面の方、参加のもと開催しました。
午前中は、「被災した子どもたちに必要な支援とは何か」について、東日本大震災とハイチ地震でのユニセフの支援をもとにワークショップを行いました。
午後からは、カンベンガ・マリールズさんの講演会を行い、ルワンダの留学生の方の参加もあり、「ルワンダの教育」を知る機会にもなりました。
(福谷真知子)

参加者の声
〇「知る」(ほとんど少ししかユニセフのことをわかっていないので)ために来たのが、今日の目的でしたが、知ること考えることが両方でできておもしろかったです。ハイチ地震と東日本大震災の比較により考える幅が広がりました。
〇ワークショップで今回の東日本大震災への支援とハイチ(途上国)への支援の違いを考えるというのが初めてのテーマでとても興味深かったです。

夏休み出前学習会



今年の夏休み親子教室は例年と違って、学習チームが地域の学童保育所へ出向いていく「夏休み出前学習会」となりました。〇月〇日東灘区魚崎「ビノキオクラブ」(参加児童〇人)、〇月〇日東灘山南「ひまわりクラブ」(〇人)、〇月25日灘区「風の子学童保育所」(〇人)の〇か所

行いました。DVD鑑賞の後、水がめ運びを体験してもらいました。手洗体操はいつも好評で、子どもたちは、はにかみながらも楽しく踊ってくれました。おしゃべりしたり、ゴロゴロしたりと、学校とはちょっと違う子どもたちの姿に接することもできました。
(中村弘子)

平和学習会



〇月〇日(水)コープ甲子園集合会室で、未就学児と小学生、母親を対象に平和学習会を行いました。幅広い年齢層なので内容を絞り込むのに頭を悩ませました。ペーパーサート(紙人形劇)を使つてのユニセフ紹介。満杯に水の入った水がめ運びを体験しました。その重さに途上国の子どもたちの大変さを実感したようです。母親が、「今日から風呂の水を武庫川からバケツ一杯でいいから運んでね」と言うと、「へえー、それは無理」と答えた〇年生の男子。その言葉に会場は笑いの渦になりました。

最後のトマト」の紙芝居、それぞれの悲惨な場面を見る顔は真剣そのものでした。受け止め方はそれぞれ違っても平和を願う気持ちは皆同じだと思います。また、日常の普通の生活に平和を感じているということ、またそれが出来ることの大切さ、ありがたさに気づいてくれたのではないのでしょうか。参加者と一緒に「平和について」考える時間を持てたことを本当にうれしく思いました。
(石本悦子)

About Donations

募金について

	通信欄記載事項	振替口座	手数料
ソマリア干ばつ 緊急募金	ソマリア K1-280兵庫	00190-5- 3100	免除
東日本大震災	東日本大震災 K1-280兵庫	00160-2- 372895	ご負担 下さい
中東・北アフリカ	中東・北アフリカ K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
ハイチ地震	ハイチ K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
パキスタン	パキスタン K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
アフガニスタン 緊急復興	アフガニスタン K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
アフリカ	アフリカ K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
自然災害	自然災害 K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
人道危機	人道危機 K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除
通常募金	K1-280兵庫	00190-5- 31000	免除

*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

Volunteer

あなたもボランティア!

ユニセフという言葉は知っているけれど、どんな活動をしているんだろう。世界の子どもたちのために、私にできることはなんだろう。「できる人が できることを できる時に」活動しています。お気軽にご連絡ください。(事務局:078-435-1605)

ユニセフ兵庫ニュース

Wish

v.o.l. 35
2011年11月号

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2011年(平成23年)11月発行

発行:兵庫県ユニセフ協会

住所:〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

電話:078-435-1605

FAX:078-451-9830

(お問い合わせは平日の10:00~16:00)

●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us

主催イベント



ユニセフボランティア講座

ユニ・ボラ塾

日時 11/26(土)

13:00-14:30

会場 コープこうべ生活文化センター5階

会議室

内容 「子どもの貧困」

震災以降、日本の子どもたちのことも考えよう

講師 末吉洋文(帝塚山大学法学部准教授)



ボランティア募集!!

ユニセフ ハンド・イン・ハンド

街頭募金活動

日時 12/23(金・祝)

11:00-13:00(予定)

会場 姫路、加古川、垂水、

須磨、元町、三宮、住

吉、芦屋、西宮、伊丹、

宝塚など

テーマ SOS!

栄養不良に苦しむ

小さな命を守ろう!

世界では5歳の誕生日を迎えるこ

となく亡くなる子どもが年間760

万人もいます。この死亡原因の

1/3以上に栄養不良が深く関係

しています。緊急時の「栄養補

助食」や長期的対策としての

「発育観察」や「母乳育児の推

進」、「微量栄養素」への支援

活動への協力を呼びかけます。

We Join

出展参加

11/13(日)

ユニセフカップ2011 西宮国際ハーフマラソン

11/27(日)

コープ ボランティア交流会

12/3(土)

ふるさとウォークにしのみや2011

News

お知らせ



ユニセフ・カードとギフト

秋・冬号2011

ユニセフグッズで世界の子どもたちに未来を

ユニセフ製品をご利用いただくことで、定価の約50%がユニセフの活動資金として世界の子どもたちのために役立てられます。数々のユニセフグッズ。ぜひ手にとってご覧ください。毎月7日には、コープこうべ生活文化センターでカード頒布を行っています。カタログ送付、詳細を知りたい方は、兵庫県ユニセフ協会までご連絡ください。



10周年記念イベントを開催

祝!

2012年3月、兵庫県ユニセフ協会はおかげさまで10周年を迎えます。

10周年記念「ユニセフのついで」を、2012年3月17日(土)に開催します。詳細は決まり次第お知らせします。ご参加ください。